

就職活動で参考にするメディアは新聞

就職活動をするために重要な情報源を尋ねたところ、紙の新聞を挙げた人が最も多く、特に大学生・大学院生では44.1%と半数近くに上りました。また、大学生・大学院生は新聞を知識や世の中の情報、仕事に役立つ情報を広く得られるメディアと評価し、社会人として読むべきものと位置付けています。この層の新聞の接触率は、10～20代(50.1%)と比べ62.7%と高く、就職活動の際に新聞を頼りにしていることがうかがえます。

図6 「就職活動のための重要な情報源」と答えた人の割合(複数回答)

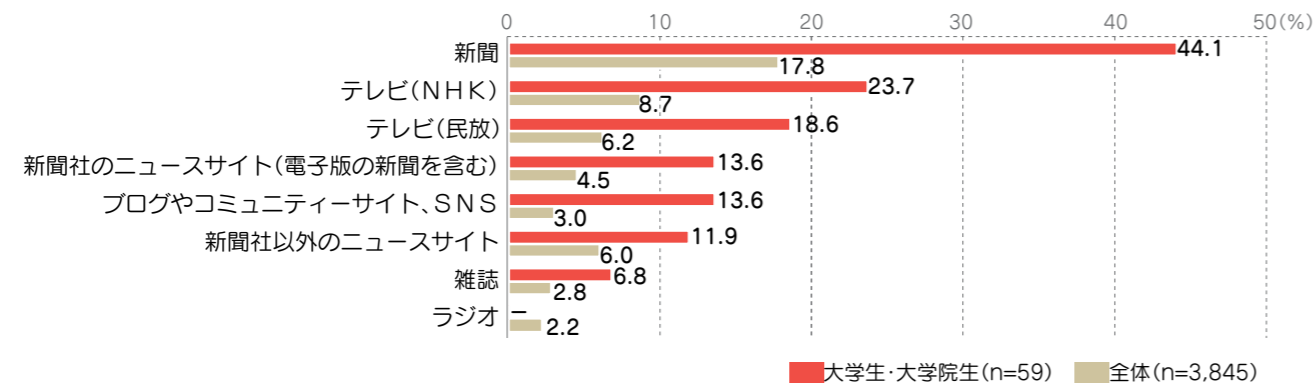


表1 大学生・大学院生の新聞の印象・評価(複数回答)

	大学生・大学院生(n=59、%)A	全体(n=3,845、%)B	差(A-B)
就職活動をするために重要な情報源である	44.1	17.8	26.3
世論を形成する力がある	52.5	28.8	23.7
教養を高めるのに役立つ	52.5	32.2	20.3
知的である	61.0	42.2	18.8
仕事に役立つ	42.4	24.1	18.3
情報の重要度がよく分かる	37.3	22.8	14.5
情報量が多い	40.7	27.5	13.2
社会に対する影響力がある	54.2	44.3	9.9
バランスよく情報が得られる	33.9	24.8	9.1
世の中の動きを幅広く捉えている	35.6	27.0	8.6
情報が正確である	37.3	29.1	8.2
情報が整理されている	35.6	27.8	7.8
情報の信頼性が高い	37.3	29.9	7.4
物事の全体像を把握することができる	27.1	21.8	5.3
中立・公正である	20.3	15.3	5.0
社会の一員としてこのメディアに触れていることは大切だ	33.9	29.3	4.6
情報が詳しい	28.8	25.1	3.7
物事の背景がよく分かる	22.0	18.6	3.4
情報が速い	11.9	8.7	3.2

図7 新聞を読んでいる人の割合

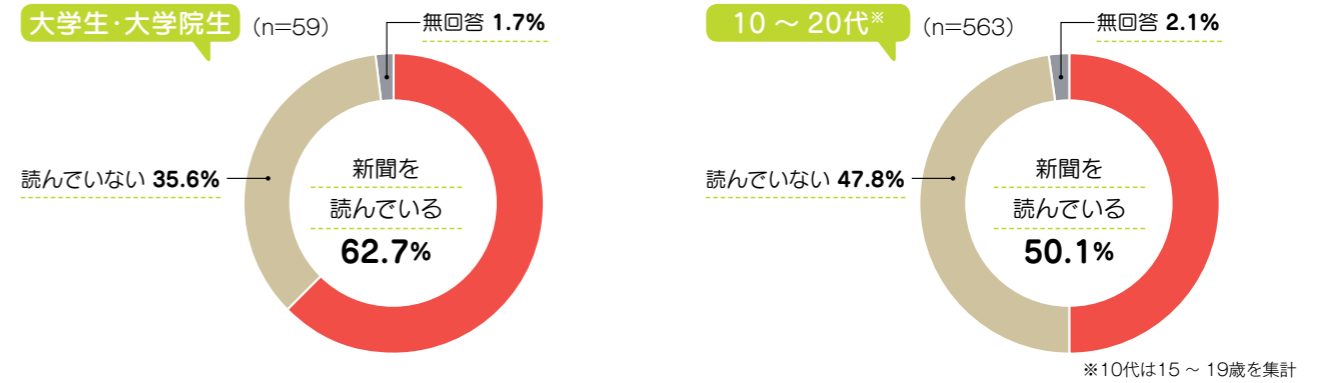
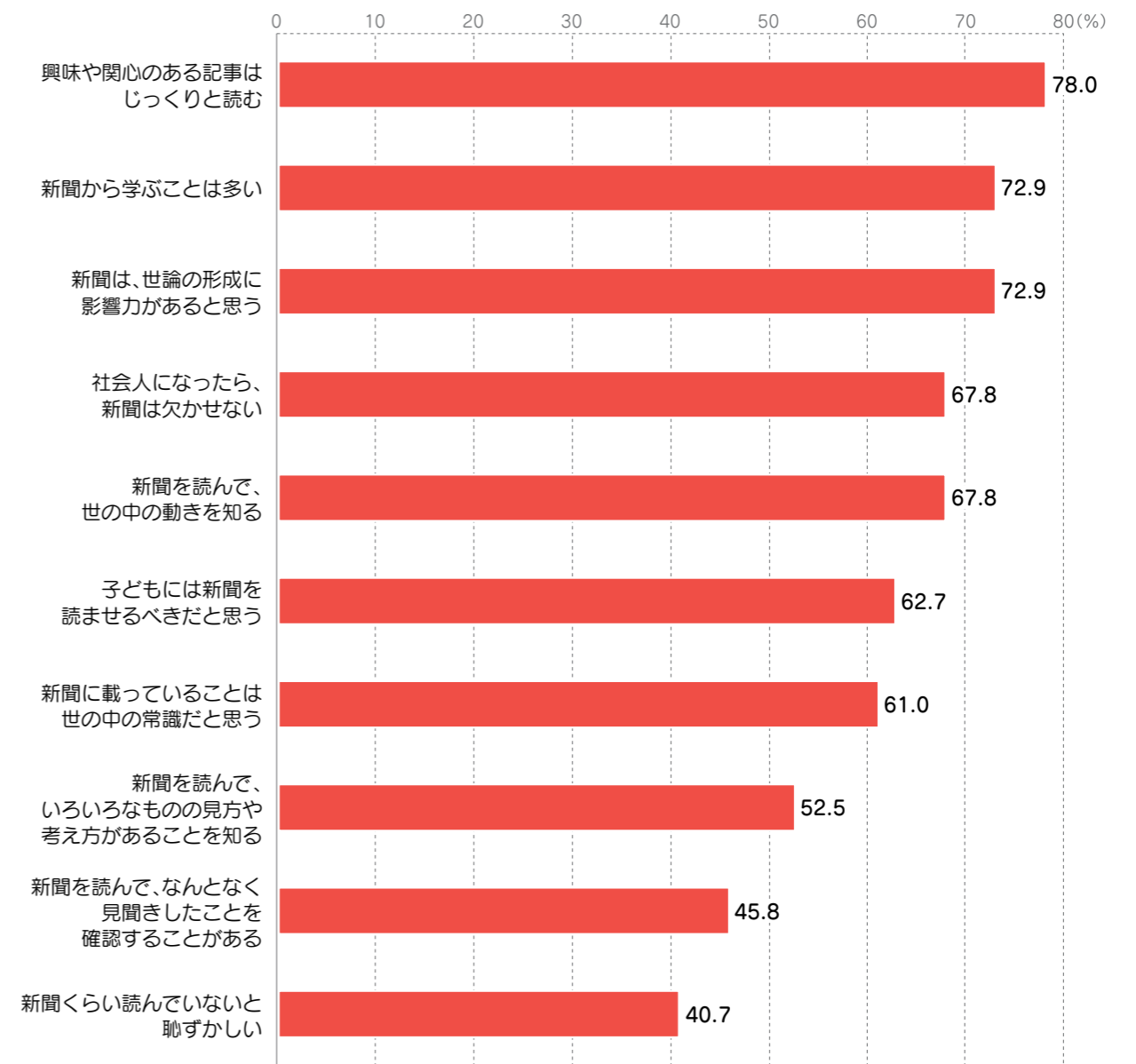


図8 大学生・大学院生の新聞に関する意識・態度(n=59)



※スコアは「あてはまる」と「まああてはまる」の合計